

ウイルス医療学寄付研究部門

[ウイルスによる社会貢献を]

生産技術研究所 寄付研究部門

ウイルス医療学

<https://www.yonelab.iis.u-tokyo.ac.jp>

<http://www.kimlab.iis.u-tokyo.ac.jp/>

ウイルス医療学

寄付者 GCAT株式会社

設置期間 2020年4月～2024年3月

重篤な感染症や既存の治療法・予防法のない感染症に対して新たな治療法開発の道を開くとともに、新たな有効性の高いワクチンの開発および実用化研究を進めます。



米田美佐子特任教授

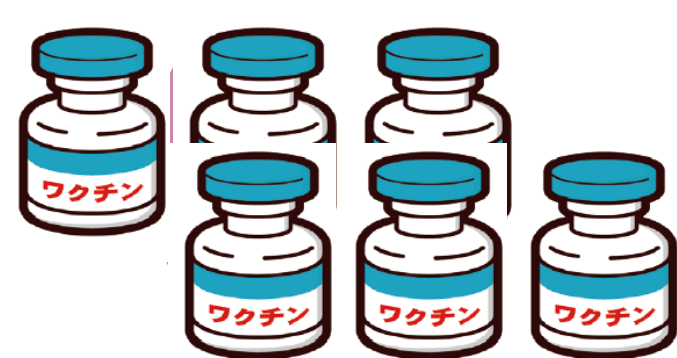


金範俊教授(部門長)

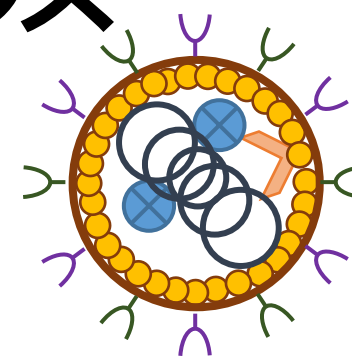
これまでに麻疹ウイルスやイヌジステンパーウイルスのベクターを用いて優れた遺伝子組換え多価ワクチンを開発し、その有効性を示してきました。特に致死性ニパウイルス感染症に対する麻疹ウイルスベクターワクチンはCEPI(Coalition for Epidemic Preparedness Innovations)に採択され支援を受け、国際共同研究によりワクチン実用化に向けた本格的な取り組みを推進しています。このような遺伝子組換えウイルスベクターワクチンは他の重篤な感染症やこれまで予防法のない感染症に対しても安全で有効性の高い防御法を与えると考えられます。そこで、現在開発中のワクチンに関する基礎的研究を蓄積するとともに、我々の技術を新たな防御法として、治療薬のない感染症に対する新たな治療薬の開発も進めていきます。これらの研究を東京大学の様々な研究室および国内外の関係機関との共同研究により推進することによって、東京大学の社会貢献およびグローバル化戦略に資する成果が得られると期待されます。

基礎的研究

ワクチンの開発



組換えウイルス



新治療法
・ 予防法の開発



重篤な感染症
治療法・予防法のない感染症

橋渡し研究

予防法のない重篤な感染症に対する遺伝子組換えウイルスを用いた多価ワクチンの開発や、有効な治療法のない感染症に対する治療薬の探索および開発研究を行い、実用化を目指した橋渡し研究(Translational Research; TR)を進めます。